

# 朝倉市被災者アンケート結果

2021年8月3日（火）

平成29年7月九州北部豪雨朝倉被災者を支える会

## 【概要】

実施日：令和3年4月24日、6月27日、7月11日、7月26日～30日

対象：杷木団地、柿添団地、及び災害公営住宅以外の被災者

## 【目的】

平成29年7月九州北部豪雨発災から4年、朝倉市が策定した復興計画では、今年「再生期」の2年目と位置付けられている。今までの復旧復興の取り組みを振り返るとともに、今後のさらなる復興・生活再建・まちづくりの取り組みに活かすため。

## 【アンケート方法】

調査員が戸別訪問を行い、事前に用意した設問を元にヒアリングを行った。

## 【アンケート回答数】

杷木団地：19世帯

柿添団地：23世帯

災害公営住宅以外の被災世帯：8世帯

## 被災時の住居の形態について。

持ち家：35

借家：3

不明：12

(※) 単位は世帯

## 世帯の年齢層について。

高齢者（65歳以上）世帯：28

20～64歳世帯：2

不明：20

(※) 単位は世帯

## 被災前の職業について。

無職（※2）：13  
農業：12  
建築・土木・造園：5  
会社員（非正規含む）：11  
自営業：1  
公務員：1  
福祉関係：1  
不明：1  
（※）単位は世帯  
（※2）年金生活者含む

## 被災後の職業について。

無職（※2）：33  
農業：3  
建築・土木・造園：4  
会社員（非正規含む）：5  
不明：3  
（※）単位は世帯  
（※2）年金生活者含む

## 被災前と被災後の収入の変化について。

収入が増えた：0  
収入が減った：16  
変わらない：28  
不明：6  
（※）単位は世帯

## 被災の程度について。

全壊：32  
大規模半壊：8  
半壊：3  
一部損壊：2  
長期避難指定：2  
不明：3  
(※) 単位は世帯

## 被災以前に同居していた家族と現在も同居しているか。

変化なし：17  
別居した：9  
不明：23  
同居した：1  
(※) 単位は世帯

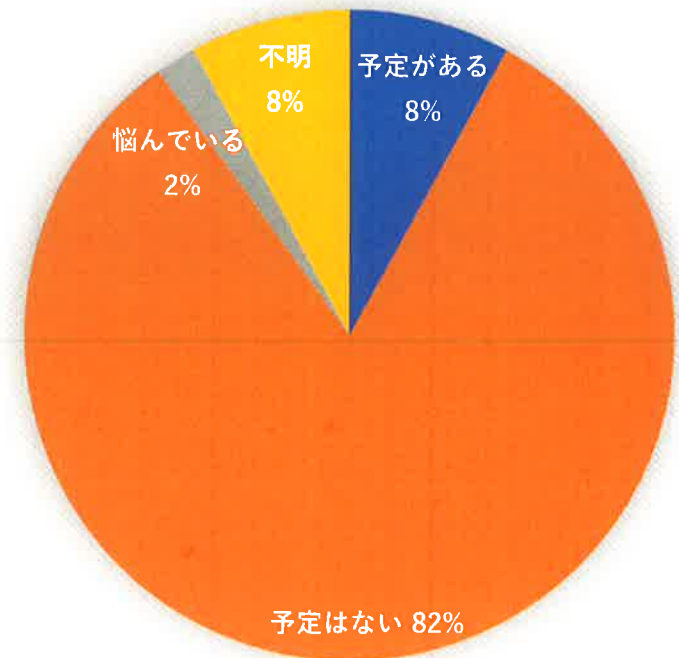
## 被災後別居した理由について。

- ・ 梶木の災害公営住宅は通勤するのに不便だから。
- ・ 一部屋に家族が収まりきらないため、同じ団地の別の部屋に分かれて入居している。
- ・ 仕事をしている息子世帯は、別の場所に新築を建てたから。
- ・ 息子が結婚をしたから。
- ・ 息子は仕事の都合で引っ越したから。
- ・ 母が施設に入ったから。

## 今後被災前の自宅や地域に戻る予定があるか。

予定がある：4  
予定はない：41  
悩んでいる：1  
不明：4  
(※) 単位は世帯

### 回答の割合



■ 予定がある ■ 予定はない ■ 悩んでいる ■ 不明

## 被災前の自宅（地域）に戻れないまたは目途が立たない主な理由。

- ・ 松末の工事が終わってないので戻れない。
- ・ 自宅があった場所に橋が架かるため目途が立たない。
- ・ 自宅の敷地が砂防ダムになった。
- ・ 工事が終わらないので目途が立たない。
- ・ 砂防ダムで立ち退きをしたから。
- ・ 砂防ダムの建設予定地にかかったから。
- ・ 家が建っていた場所が道路になったから。
- ・ ライフラインが復旧してないから。
- ・ 老々介護のため、家を建てる財力がない。
- ・ 再建のための資金がないから。貸付を利用したいが、利用できない。
- ・ 以前の場所はまた被災しそうで怖いから。
- ・ 戻って一人で暮らすのは不安だから。
- ・ 家は解体したから。
- ・ 土地を売りに出したから。

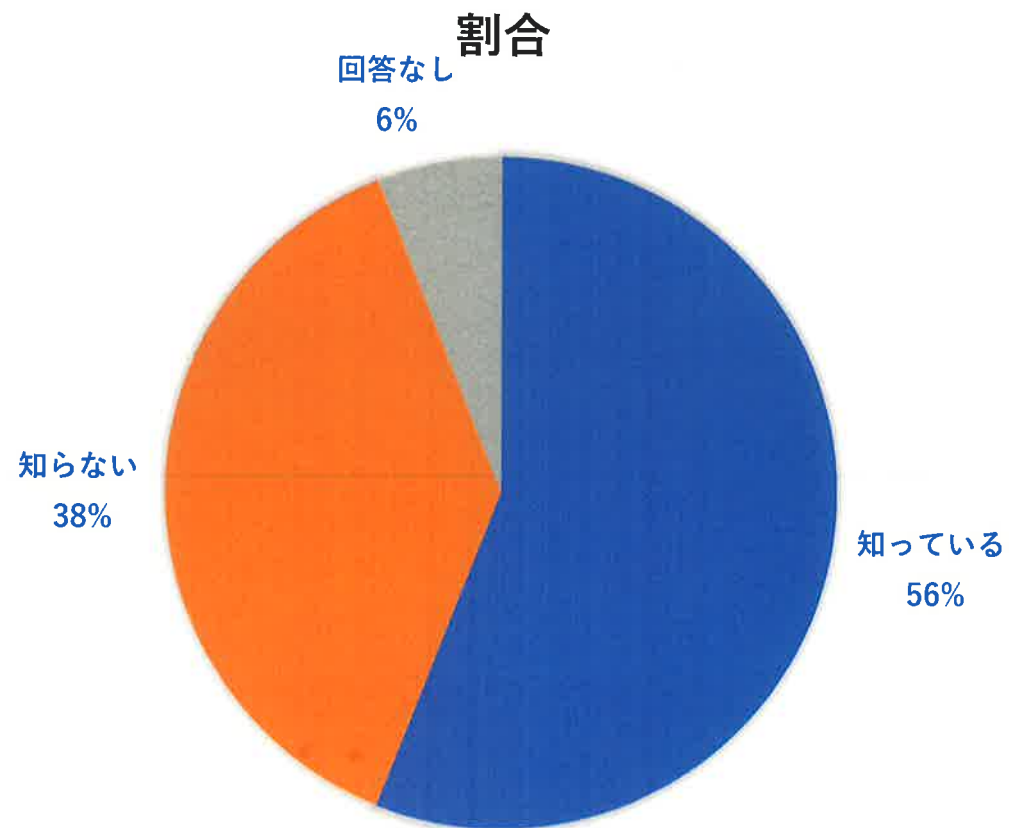


## 災害公営住宅に住んでいて困っていることや不安に思っていることについて。

- ・一人暮らしなので何かあった時に不安。
- ・何もかもが不安。
- ・仮設のときの方が交流会があった。
- ・玄関のドアが重たい。
- ・交通手段がない。
- ・友達付き合いがない。
- ・買い物に使えるバスがない。
- ・行政が復興をどうするのかわからない。
- ・将来的に通院が不安。
- ・娘が面倒を見てくれるので不安はない。
- ・車を持ってないためタクシー代がかかる。
- ・家賃の支払いが続けられるか不安。
- ・書類を送付することが多いのに、近くにポストがなくて不便。
- ・他の部屋の生活音が気になる。
- ・台所の不具合を問い合わせたのに、その後連絡がない。

# 地域支え合いセンターについて知っていますか。

知っている：28  
知らない：19  
回答なし：3  
(※) 単位は世帯



知っている人と答えた人へ。  
地域支え合いセンターの訪問で良いと思った点。

- ・お年寄りの話し相手になってよかった。
- ・同じ地域の人だったので気軽に話せた。
- ・気軽に話せた。
- ・知っている人だったので気軽に話せた。
- ・気分的によかった。
- ・悩みを相談できた。情報が手に入った。
- ・話し相手としてよかった。

知っていると言えた人へ。  
改善して欲しい点について。

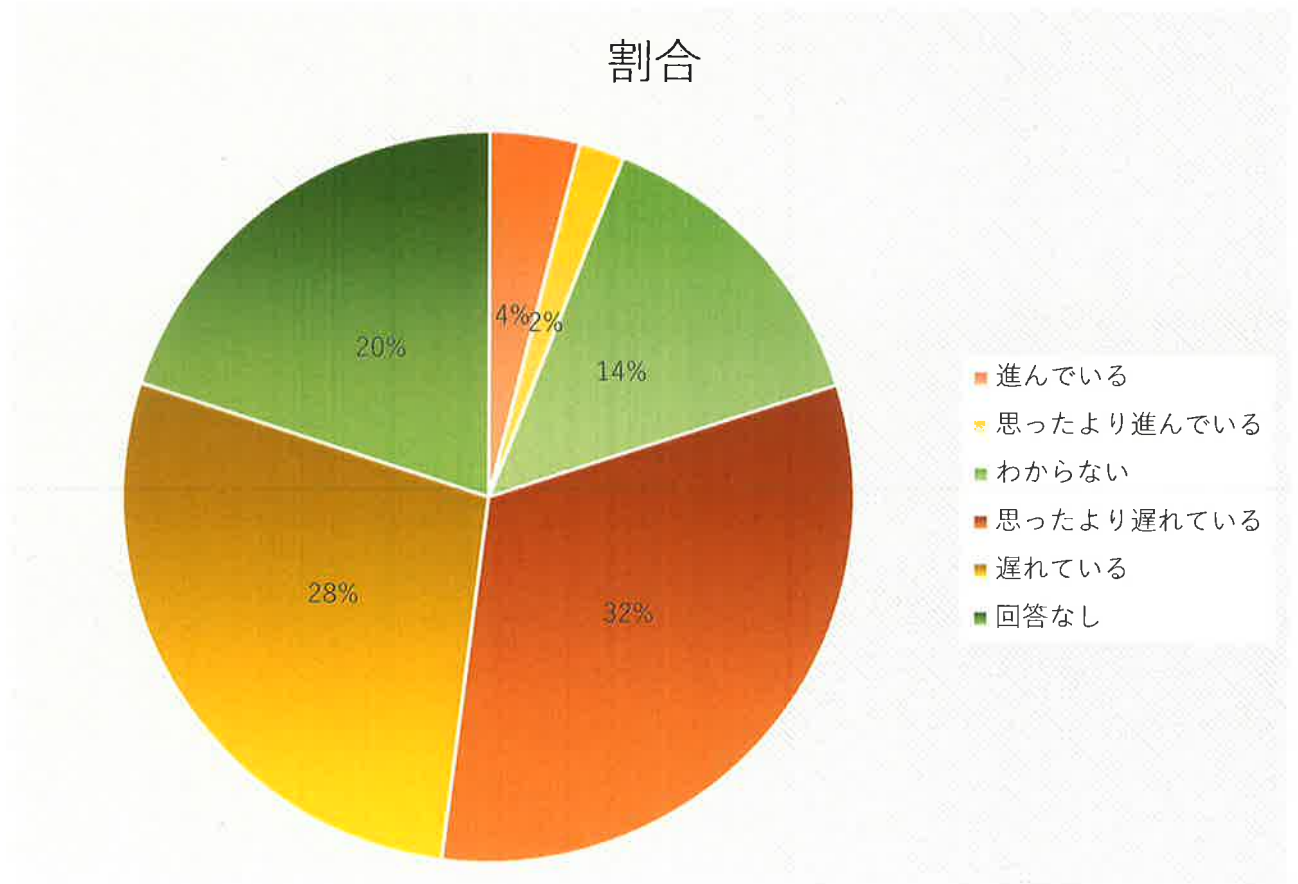
- ・ 知り合いだったので色々聞けず、どこまで話して良いかわからなかった。
- ・ 知り合いが来たが話を聞いてもらうだけだった。
- ・ 状況だけ聞いていっただけだった。
- ・ 家を再建する予定がないなら、必要ない。
- ・ 話を聞いてくれるだけ。ありがたいけど、必要ない。
- ・ しゃあしい（鬱陶しい）。

知らないと答えた人へ。  
地域支え合いセンターについて前述以外の意見。

- 支え合いセンターをそもそも知らない。
- 名前を聞いたことがあるが、訪問されたことはない。
- ポストに担当者のメモが入っていたが、それ以上の関わりはない。
- 担当職員にあったことはあるが、支援を受けた記憶がない。
- 訪問すると連絡があったのに、来なかった。
- 関わりがない。
- 会ったことない。
- 「えんがわ」に来てたことくらいしか知らない。

## 朝倉の復興状況についてどう感じているか。

進んでいる：2  
思ったよりも進んでいる：1  
わからない：7  
思ったよりも遅れている：16  
遅れている：14  
回答なし：10  
(※) 単位は世帯



## 今後の復興のためにはどのようなことが必要だと思いますか。

- ・ 地権者の承諾もとらずに勝手に工事していることに納得いかない。
- ・ いきいきサロンは続けてほしい。
- ・ 事業に関する資材等が流されたのに補償がなかった。
- ・ 駐車場代が高い。集合住宅の生活に慣れない。
- ・ 農業機械に対する補償がない。
- ・ 自治会費の二重負担を解消してほしい。
- ・ 復興の状況の細やかな説明をしてほしい。先が見えない。
- ・ 朝倉市が何を考えているのかわからない。
- ・ 長期避難に指定されているので、まだ仮の住まいが必要。
- ・ 今後家賃が払えるのか不安。
- ・ 仕事がない。
- ・ 元の土地に家が残っているが、解体もできないし戻れない。
- ・ 地域を復興させて、活性化してほしい。
- ・ 年齢的に役員になれる人がいないので、地域のコミュニティを再建できない。
- ・ 義援金のことです誹謗中傷してくる人がいる。
- ・ 自家栽培ができなくなったことで、食費が増えた。